

共に学び、生きる共生社会コンファレンス

趣旨

— 誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会の実現 —

学校卒業後の障害者が生涯を通じて学び続けられる社会、共に学び生きる共生社会の実現に向けて、**障害者の生涯学習の機会を全国的な整備・充実**のために、**障害者の生涯学習活動の関係者が集う「共に学び、生きる共生社会コンファレンス***を全国各地で実施。（地域別または特定のテーマを設定して開催）

障害者本人による学びの成果発表等や、学びの場づくりに関する好事例の共有、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を通じて、障害の社会モデルに基づく**障害理解の促進**や、支援者同士の学び合いによる**学びの場の担い手の育成**、**教育や福祉、労働など分野を超えた**関係者による**連携体制の構築**の推進等により、**障害者の学びの場の充実**を目指す。

*コンファレンス (Conference) …会議、協議会関係者間で共有する問題について協議すること

参加者

- ・行政職員（都道府県や市区町村の教育・福祉・労働等の部局の担当者）
- ・社会教育主事（社会教育士）
- ・社会教育施設職員
- ・障害者本人や家族
- ・特別支援学校等教職員
- ・大学関係者（研究者）
- ・障害者の学習支援実践者（NPO等）
- ・福祉サービス事業所職員
- ・社会福祉協議会職員 等

実施内容

【プログラムの例】

- ・行政による施策の説明
- ・有識者による基調講演
- ・多様な実践事例の発表
- ・パネルディスカッション
- ・テーマ別ワークショップ
- ・読書バリアフリー展示
- ・障害者団体によるパフォーマンス
- ・参加者同士の意見交換など交流機会
- ・福祉事業所出展ブース 等

実施主体

■地域コンファレンス：自治体や自治体と連携する機関

■テーマ別コンファレンス：民間団体等



<車いすでeスポーツ体験>



<障害者アート展示>



<当事者による学びの成果発表>



<行政説明・基調講演>



<読書バリアフリー図書展示>

コンファレンスの
アーカイブ動画等
(文部科学省HP)



令和7年度「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」開催予定

